

第 2 期南陽市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (改定案)

※赤文字が改正箇所

令和 3 年 3 月 策定

令和 3 年 7 月 一部改定

令和 6 年 1 1 月 一部改定

I 第2期南陽市まち・ひと・しごと創生総合戦略

南陽市は、北部に丘陵、南部に沃野が広がり、米・野菜・果樹（ぶどう、さくらんぼ、ラ・フランス等）などの栽培にも適した風光明媚な自然環境に囲まれています。また、開湯920年余の伝統ある赤湯温泉、1,200年以上の歴史を誇り、あらゆる命を生み出し育む「むすひ」の神様をお祀りする熊野大社、郷土の民話を伝える「夕鶴の里資料館・語り部の館」、第15代日本銀行総裁等を歴任した結城豊太郎先生の遺品や文化財等を展示する「結城豊太郎記念館」や国指定史跡「稻荷森古墳」、全国一の文化と技を誇る「南陽の菊まつり」等の歴史と文化に彩られ、観光資源にも恵まれたまちです。さらに、全国初の大型木造耐火の文化ホール「南陽市文化会館」が開館したことで、新たな交流人口も見られます。一方で、新型コロナウイルス感染症の流行は、人や社会のありかたに大きな変革をもたらしており、今後は「新たな日常（ニューノーマル）」を意識した施策が必要であるとともに、感染症を契機として高まっている地方への関心を地方創生に繋げるため、人や仕事を惹きつける魅力的な地域づくりの実現が強く求められています。

II 基本目標

第2期南陽市総合戦略では、人口ビジョンによる人口の将来展望の実現を目指すとともに、前述の南陽市の現状や特徴を踏まえ、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が定める目標を十分に勘案し、以下の4つの基本目標を定めます。

- | |
|--|
| <p>基本目標1：稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする</p> <p>基本目標2：南陽とのつながりを築き、南陽への新しい人の流れをつくる</p> <p>基本目標3：結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p>基本目標4：ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる</p> |
|--|

なお、施策の実施にあたっては周辺地域と連携を図り、これまで以上に自主的・主体的に地方創生に取り組みます。また、Society5.0やSDGsなどの新しい概念を積極的に取り入れ、多様な人材の育成と活用を図りながら、「新たな日常（ニューノーマル）」の構築を進めます。

基本目標 1

稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

数値目標	基準値 (R1)	目標値 (R7)
製造業の従業者数（従業者 4 人以上の事業所）	3,241 人	3,241 人 (R3～R7 平均)
新規就農者数	31 人 (H27～R1 累計)	30 人 (R3～R7 累計)
従業者一人あたりの製造品出荷額等	1,705 万円 (H30)	1,800 万円 (R3～R7 平均)
農業総生産額	5,330 百万円 (H29)	5,600 百万円 (R3～R7 平均)
農業産出額	8,910 百万円	9,077 百万円 (R3～R7 平均)

【基本的方向】

- (1) 中川地区へ新たな産業団地の整備を検討し、既存企業と連携できる産業等の誘致を図ります。また、地域経済の活性化と雇用の創出を図るため、成長が期待される地域企業の設備投資を支援します。
- (2) 地域産業のニーズと就職を希望する若者とのアンマッチを解消するため、企業情報の発信や若者とのつながりを構築し、若者の地元への就職を促進します。また、地域産業を支える人材を掘り起こし、地元企業等への就職につなげる取組を進めるとともに、セミナー等を通じて個々のスキルアップを支援します。
- (3) 新たな産業や雇用の創出に向けて、起業するためのノウハウを学ぶ機会の提供や創業に向けた伴走型の支援を充実させます。
- (4) 農産物の付加価値を高めるため、地域で生産された農作物のブランディングや生産から加工、販売までを一体的に行う 6 次産業化、販路拡大に関する取組を支援します。

【施策① 企業活動、企業立地への支援】

産業の活性化を推進し、就業者の定住を促進します。新たな企業・産業の振興のため、産業団地の整備や企業の移転を推進します。

[K P I]

指標	基準値 (R1)	目標値 (R7)
新産業団地の整備	0か所	1か所
本社機能移転企業数	1社 (H26～R1累計)	1社 (R3～R7累計)

[具体的事業]

- ・企業立地促進事業
- ・企業交流振興事業
- ・本社機能移転奨励金事業
- ・産業団地整備事業

【施策② 就業の機会や人材育成への支援】

地域産業を支える人材を掘り起こし、地元企業等への就職につなげるため、若者・女性等の新規就業、Uターン就業等の機会の提供を推進します。また、専門的な人材の確保と育成により、地元産業の振興や人材の定着を図ります。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	目標値 (R7)
インターンシップ体験者の就職者数	30人 (H28～R1累計)	35人 (R3～R7累計)
市主催の就職面接会による就職者数	12人	50人 (R3～R7累計)

[具体的事業]

- ・奨学金返還支援事業
- ・インターンシップ促進事業
- ・人材確保定着支援促進事業

【施策③ 起業の機会の創出、支援】

地域資源・産業を活かした起業を促進するとともに、先端技術の活用や専門人材の確保・育成により、新たな産業の振興を図ります。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	目標値 (R7)
市支援の新規創業者数	0件	15件 (R3～R7累計)
中高生が考案又は実施する地域課題解決ビジネス件数	0件 (R5)	1件 (R10)

[具体的事業]

- ・創業者支援事業
- ・「中高生×地域魅力化」赤湯駅拠点整備プロジェクト事業

【施策④ 販路拡大や6次産業化等による農林業の活性化】

南陽の「んまい（方言：おいしい）」もの、地産地消の推進を図るとともに新たな発想による地元農産品の販路拡大や6次産業化等により消費拡大を図り、農林業の活性化を推進します。

また、従来の森林整備及び保全に加え森林経営管理制度を活用し、林業の活性化を推進します。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	目標値 (R7)
新規ぶどう生産者数	17人 (H28～H30 累計)	5人 (R3～R7 累計)
間伐材搬出量	1,015 m ³	1,100 m ³ (R3～R7 平均)
イノシシの捕獲頭数	328頭 (H28～R2累計)	750頭 (R3～R7累計)

[具体的事業]

- ・新規就農者支援事業
- ・耕作放棄地等再生支援事業
- ・森林整備地域活動支援事業
- ・~~獣害対策事業~~
- ・林道施設整備等事業

基本目標 2

南陽とのつながりを築き、南陽への新しい人の流れをつくる

数値目標	基準値 (R1)	目標値 (R7)
南陽市公式 LINE 登録者数	1,830 人	10,000 人
年間観光客数	96 万 3 千人	100 万人

【基本的方向】

- (1) 農業経営者、商店、飲食店、宿泊施設などが、分野を横断して連携することにより、地域の観光資源をつなげた着地型観光を進めます。また、県内各地の観光資源と広域的に連携し、周遊型及び滞在型の観光サービスを提供します。それらの中で地域のスポーツイベントやお祭り、文化芸術、農業体験等と観光を融合させることにより体験型の観光を充実させます。
- (2) 個人旅行やインバウンド需要の拡大、新たなマーケットの開拓、移住定住に関する相談など、国、地域や年代等のターゲット層を定め、広報時期やターゲット層に対応した情報手段の活用など、効果的な広報戦略を行います。また、インバウンド需要を取り込むため、交通機関や観光施設等の観光情報発信の多言語対応化や Wi-Fi 環境の整備、外国人旅行者向けガイド人材の育成を促進します。
- (3) 移住・定住やオンライン関係人口など新たな繋がり創出に向けて、地域情報の一元的な発信を行うとともに、県や関係機関と連携しながら、住まい、仕事、子育てなど個々の暮らしに合わせたきめ細やかな相談支援を行います。
- (4) 移住・定住、交流・関係人口を問わず、誰もが交流を持つことができる場所や活躍する機会をつくることで、地域の活性化を推進します。

【施策① 観光向けイベント・ツアーの展開】

広域的な取組を行い、民間と連携して地域の良好な資源を活用した魅力的なイベント・ツアーを開催し、四季を通じた観光客の誘致を図ります。

多彩な農業や美しい森の資源を活用して体験型交流活動を展開し、1次産業の活性化と環境の保全を図ります。

[K P I]

DMO 関係の指標については、南陽市・長井市・白鷹町・飯豊町・小国町の合計値。

項目	基準値 (R1)	目標値 (R7)
桜・バラ・菊のイベント等参加者	207,328人	220,000人
森林づくり参加者	3,157人	3,100人 (R3～R7平均)
DMO の旅行業等による売上額	26,291千円	107,353千円
DMO の旅行商品催行数	161件	441件
DMO の取扱いによって宿泊を伴う旅行をした人数	239人	579人
DMO 会員数	52件	189件

[具体的事業]

- ・桜、バラ、菊祭り等の開催（支援）事業
- ・企業の森づくり事業
- ・地域連携DMOを中心とした観光地域づくり推進事業

【施策② 南陽市の魅力発信による観光推進】

戦略的な誘客プロモーションを展開して、広域的な連携を行い、国内のみならず、外国人観光客の誘致を推進し、観光客の増加を図ります。

高齢者、障がい者にも配慮した、「おもてなし」観光を推進し、「おしょうしな（方言：ありがとう）」の声あふれるまちづくりを行います。

[K P I]

車イス補助具利用人数は、熊野大社、赤湯温泉観光センター設置の車イス補助具の利用人数。

項目	基準値 (R1)	目標値 (R7)
外国人宿泊客数	1,172人	1,200人
車イス補助具利用人数	57人	100人

[具体的事業]

- ・外国人観光誘客事業
- ・南陽市の魅力発信による観光振興事業
- ・障がい者観光促進事業

【施策③ 移住・定住や関係人口の創出】

移住・定住や関係人口の創出に向けた交流の機会を創出し、多様な世代が暮らしやすいまちづくりを推進します。

また、地域おこし協力隊を採用し、地域の活力を高めるとともに、様々な情報手段の活用やふるさと納税の推進により、市内外に向けて地域の魅力を発信します。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	目標値 (R7)
Uターン定住世帯（子育て世代定住促進交付金による）	2 件	4 件
ふるさと納税申込数	30,016 件	36,000 件
地域の人口・世帯数	29,470 人 (R6. 1. 1)	29,000 人 (R9. 1. 1)
県外からの新規移住者世帯数 （山形県移住世帯向け食の支援事業の実績による）	6 世帯	11 世帯 (R3～R7 平均)
地域への UIJ ターン数	12 件 (R5)	22 件 (R10)
移住相談窓口（市）への年間相談件数	42件	50 件 (R3～R7 平均)
地域おこし協力隊の定住数	2 人 (H27～R1 累計)	5 人 (R3～R7 累計)
地域おこし協力隊の新規採用 隊員数	3 人 (H27～R1 累計)	10 人 (R3～R7 累計)

おためし地域おこし協力隊の参加人数	0人	15人 (R3～R7 累計)
-------------------	----	----------------

[具体的事業]

- ・子育て世代定住促進交付金事業
- ・ふるさと納税事業
- ・移住定住推進事業
- ・地域おこし協力隊事業
- ・おためし地域おこし協力隊事業
- ・故郷未来プロジェクト事業

【施策④ 人材育成と交流の推進】

中高生や若者の地域活動の支援等を通じて、地域づくりの中心となる人材を育成します。

また、人が集まり、交流できる場所を整備することで、世代を超えた人々が繋がり、地域が活性化するきっかけをつくります。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	目標値 (R7)
事業を通じて実施した地域活動の取組数	0回	25回 (R3～R7累計)
温泉利用型健康増進施設の利用者数	146,336人	159,106人
温泉利用型健康増進施設（バリアフリー浴室）の利用者数	0人	1,035人

[具体的事業]

- ・魅力ある高等教育支援事業（地域×高校魅力化みらいプロジェクト）
- ・温泉利用型健康増進施設整備事業

基本目標3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	基準値 (R1)	目標値 (R7)
合計特殊出生率	1.46	1.65

【基本的方向】

- (1) 近隣自治体等と連携して出会いの機会を創出するとともに、結婚の意識付けや結婚を希望する人へのサポート活動を支援するなど、結婚の希望をかなえる支援の強化を図ります。
- (2) **不妊に悩む方妊婦**への支援や産後ケアサービスの充実、母子保健、子育て相談支援体制の強化など、妊娠から出産、子育てまで様々なニーズに対する切れ目のない支援を行います。
- (3) 一時預かりや学童保育などを始めとする多様な保育サービスの充実により、社会全体で子育てを応援する体制の構築を促進し、仕事と子育ての両立を目指す子育て世代の支援を行います。また、子育て世帯の定住や市外からの転入を促すため、住宅の取得支援や安心して子育てができる生活環境の整備を推進します。

【施策① 出会いの支援】

若い世代の人たちが南陽市で結婚し、定住するように、多様な出会いの機会や、男女が体験を共有できる縁結びの場を提供します。

また、若い世代の人たちが、様々な人との交流などに自信を持って取り組むことができるよう、自分磨きの場を提供します。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	目標値 (R7)
市主催のお見合い件数	26 件	30 件 (R3～R7 平均)
結婚新生活支援事業の補助件数	0 件	5 件 (R3～R7 平均)

[具体的事業]

- ・結婚推進事業
- ・結婚新生活支援事業

【施策② 妊娠、出産への支援】

安心して妊娠、出産できるよう、妊産婦やその家族のサポートを強化するとともに、~~子を持つことへの希望を叶えるよう不妊治療費を助成~~します。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	目標値 (R7)
特定不妊治療助成者の数	20人	20人(R3～R7平均)
3人っ子妊娠確定前診療者数	39人	50人

[具体的事業]

- ・~~特定不妊治療費助成事業~~
- ・妊婦健康診査事業
- ・3人っ子妊娠確定前診療費助成事業
- ・~~すこやか赤ちゃんギフト事業~~

【施策③ 安心して子育てできる環境の充実】

社会全体で子育てを応援するため、働きながら子育てしやすい環境づくりを推進するとともに、子育てに係る経済的支援を実施します。

また、子どもの居場所づくりや、高齢者・ジュニアリーダー等の地域の先生を育成し、地域ぐるみで子育てをサポートします。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	目標値 (R7)
第3子以降出生数	32人	32人
地域子育て支援拠点施設の利用者数	3,383人	3,500人
高齢者・ジュニアリーダー等の地域の先生の数	379人	400人

[具体的事業]

- 南陽市子育て推進事業（保育料第3子無料事業、子育て支援医療費給付事業等）
- ~~空き家を利用した子育て世代住宅取得支援事業~~
- 放課後子ども総合プラン推進事業

基本目標4

ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

数値目標	基準値 (R1)	目標値 (R7)
すみやすいと感じる人の割合	68.3% (R1)	75.0% (R7)
これからも住みたい人の割合	69.8% (R1)	75.0% (R7)
将来住みたいと考える中学生の割合	56.8% (R1)	60.0% (R7)
将来住みたいと考える高校生の割合	34.1% (R1)	39.1% (R10)

【基本的方向】

- (1) 冬季間も安全で快適な市民生活や経済活動が確保できるよう、道路等の除排雪体制の充実を図るとともに、自助、共助、公助による除排雪などの地域支援体制の構築を図ります。
- (2) 大規模な自然災害や火災等に機能的に対応するため、消防団（水防団）活動を推進するとともに、災害に関する研修会や避難訓練の実施などを通じて、自助・共助・公助の意識を醸成し、地域防災体制の充実を図ります。また、多発する自然災害は地球温暖化が主たる要因であるため、二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」に取り組み、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを進めます。
- (3) 生涯にわたり健康で文化的な生活が営めるように、地域の公共施設の有効活用や利用促進を図ります。
- (4) 安全・安心な居住環境となるよう、自然災害に備える取組を推進するとともに、空き家バンク等の仕組みを活用しながら、きめ細やかな空き家・空き店舗の対応と適正管理、有効活用を目指します。

【施策① 雪に強い地域づくりの推進】

冬季間も安全で快適な市民生活や経済活動を確保するため、除雪体制・除雪支援体制を強化し、雪に強い地域をつくります。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	目標値 (R7)
除雪オペレーター担い手支援者数	0人	5人 (R4~R7 平均)

[具体的事業]

- ・ 除雪オペレーター担い手確保支援事業
- ・ 除雪費支給事業

【施策② 安全安心な地域づくりの推進】

地域防災体制の充実に向けて災害時における復旧・復興等の機能を強化するとともに、ゼロカーボンシティを目指した取組を進めます。

市民誰もが生涯にわたって健康で、活躍できる社会をつくるため、健幸のまちづくりを進めます。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	目標値 (R7)
自主防災組織率	98.2%	100%
防災士の資格取得者数	4名	4名 (R3~R7平均)
LED防犯灯設置率	59.8%	95%
健幸アンバサダー等のボランティア活躍人数	0人 (R5)	200人 (R8)
インセンティブ健康施策の参加者数	0人 (R5)	2,500人 (R8)

[具体的事業]

- ・ 安全安心な地域づくり推進事業
- ・ 自主防災組織推進事業
- ・ LED防犯灯整備補助事業
- ・ SDGsチャレンジ事業
- ・ 健幸ポイント事業

【施策③ 地域の核となる施設の有効活用】

市民の健やかで文化的な生活の実現を図るため、地域の公共施設の利用促進や有効活用を図ります。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	目標値 (R7)
公民館利用者数	99,922人	114,000人
体育施設利用者数	141,839人	142,000人
文化会館利用者数	132,185人	133,000人

[具体的事業]

- ・コミュニティ助成事業
- ・体育施設等利用促進事業
- ・文化会館管理運営事業

【施策④ 空き家の利活用の推進】

きめ細やかな空き家・空き店舗の対応と適正管理、有効活用を目指し、空き家に係る問題解決に向けた協働を推進します。

[K P I]

項目	基準値 (R1)	目標値 (R7)
空き家バンク登録家屋の売買等成約件数	3件	5件 (R3～R7平均)

[具体的事業]

- ・空き家に係る問題解決に向けた協働の推進事業
- ・空き家バンク事業